

# 活動紹介

## 開催概要はこ 今回の交渉会

オーディオとして、始めに岡本復興広報次官から「復

み、NPO法人の方々が主体となって活動を進めていく上で地域が自立することはできない。皆様のお知恵を借りながら進めていきたい。」との挨拶がありました。

続いて、達増岩手県知事（大友岩手県復興局副局長代読）から「本日の交流会を契機とし、交流の輪が広がり、『い東北』の創造に向けた取り組みが大きく進展すること祈念する」とのご挨拶をいただきました。本田遠野市長



今回のステージ企画として、イントロ・セッションと特企画の2つのパネルディスカッションを行い、登壇者やース出展者と来場者が交流する「交流タイム」を開催し、その後の「来場者との対話型セッション」で意見交換をしました。

っしゃる本多史郎 氏（公益財団法人 トヨタ財団 プログラム・オフィサー）をファシリテーターに迎え、パネルディスカッション形式でご議論いただきました。小林氏から災害に強い「コンパクトタウン」について、阿部氏から新潟県山古志村での活動事例、本多氏からは岩手県釜石平田団地の事例についてご説明いただきました。議論のでは、今後のコミュニティ形成における課題として、公住宅の管理、入居者の交流機会創出に向けた取組・サポート体制の重要性が示されました。

次に行われた特別企画「郷土芸能・祭りを通じたコミュニティ形成」では、東日本大震災の被災地で「郷土芸能・祭り」を通じたコミュニティ形成に取り組んでこられた東英夫 氏（臼澤鹿子踊り保存会 会長）、小岩 秀太郎 氏（公益社団法人全日本郷土芸能協会 事務局次長）にご登壇いただき、トークセッションを行いました。小岩氏からは被災地で祭り・芸能を復活させた事例を複数ご紹介いただきました。東梅氏からは、被災直後の祭り開催に対する反対意見への懸念や開催後の参加者の自信を持った姿など、現の生の声をお伝えいただきました。

交流タイム後の「来場者との対話型セッション」では、場者の皆様がパネルディスカッションと交流タイムの中感じたことや、日頃から抱いているコミュニティ形成に関する疑問や問題意識等について、登壇者の方々にご議論いただきました。会場の皆様と東日本大震災からの復旧過程におけるコミュニティ形成の「次の一手」を考えました。

治体版ハンズオン支援事業対象自治体（岩手県久慈市・  
城県塩竈市・福島県郡山市）の方にお越しいただき、コ  
ミュニティ形成に向けた取組状況等を会場全体で共有した  
後、新たなコミュニティの中で「伝統芸能・祭り」をど  
のように活かすか、公営住宅を誰がどのように管理・運営  
することが有効か、といった議論がなされました。また、  
の一手を考えるためには、官・民での連携や他地域の民  
間での交流など、違う背景や魅力を持った人と情報交換  
議論をすることで多種多様なノウハウをつないでいくこ  
が有効とのご発言がありました。

※ 今後、変更する可能性もございます。	
場所	あえりあ遠野 2階 交流ホール 岩手県遠野市新町1-10 アクセスは <a href="#">こちら</a>
お申込み	本交流会への参加をご希望の場合、事前連絡ください。
お問い合わせ	「新しい東北」官民連携推進協議会事務局 E-mail : <a href="mailto:nt-info@mizuho-ri.co.jp">nt-info@mizuho-ri.co.jp</a> TE
<h2>参考資料</h2>	
<a href="#">当日プログラム</a> <a href="#">フライヤー（「新しい東北」交流会 in 遠野）</a> <a href="#">ステージ企画フライヤー</a>	

13:45-15:00 イントロ・セッション「復興過程でコミュニティをどう作るか」

被災地の復  
ス、民間企  
する予定で

- 自治体・大学・民間企業等による
- 被災地での新たなビジネス展開
- 復興庁関係事業／「WORK F

- 映像上映コーナー

会員団体の取組を、映像でご紹介させていただきます。

岩手県／いわて連携復興センター／東北大学農学研究科／福  
株式会社大和リース／日本臨床研究支援ユニット／東北☆家  
生機構／

復興庁  
Reconstruction Agency

現地に足を運んで、東日本大震災の  
教訓から災害を知り、備えを学ぶ  
復興庁・JTB「るるぶ特別編集」改訂二版  
東日本大震災伝承施設ガイド

復興庁  
EXPO 2025  
大阪・関西万博  
復興ポータルサイト  
つむぎ、つなげて

列

- 名簿・御挨拶

▶ 分野別ポータル

---

バナー  
ジ

▶ これまでの取組・活動

---

  - ・連携支援制度・セミナー制度
  - ・「新しい東北」交流会
  - ・「新しい東北」情報発信事業
  - ・新しい東北×究極のお土産
  - ・「新しい東北」キッチン
  - ・共創力で進む東北プロジェクト
  - ・ビジネス創業支援事業

10

